イワタニ アイソウィーンシリーズ H110N型

ナーサリーコンテナ

THEVCO　コントローラー仕様

取扱説明書



●輸入総発売元 ・ 問い合わせ先
イワタニ・ケンボロー株式会社

札幌営業所	TEL011(807)8261	FAX011(702)0555
東北営業所	TEL0197(22)8301	FAX0197(22)8304
東京営業所	TEL03(3668)5360	FAX03(3668)5368
大阪営業所	TEL06(6536)6431	FAX06(6536)6291
九州営業所	TEL0985(23)5543	FAX0985(23)5561

岩 谷 産 業 株 式 会 社
自 然 産 業 本 部
TEL03(5405)5922　FAX03(5405)5635

Iwatani

はじめに。。。

この度は、『ナーサリーコンテナ』をお買い上げ頂き、誠にありがとうございます。
私どもがお届け致しました、このシステム豚舎が、微力ながらもお客様のお役に立てれば幸いです。

この『ナーサリーコンテナ』は、お使い頂く前に、種々準備をおこなう必要がございます。
以下に手順をまとめましたので、必ずご熟読の上、準備を完了され、ご使用を開始されます事を、
よろしくお願い申し上げます。

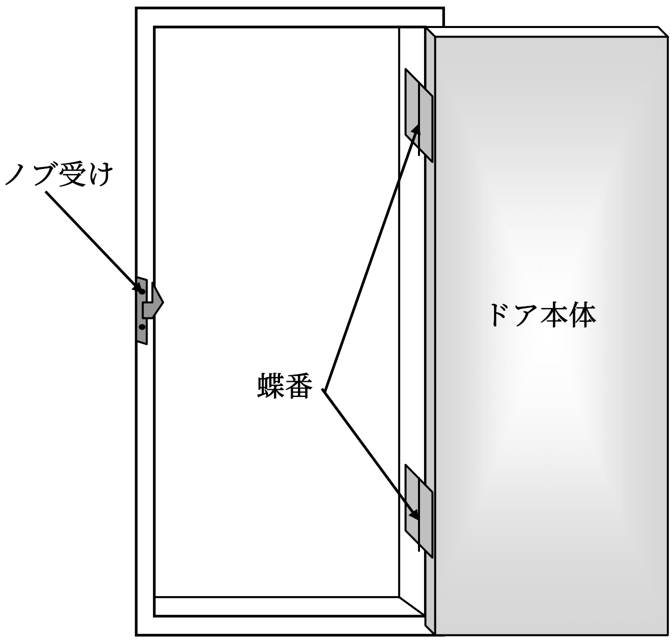
現場搬入後の最初の作業

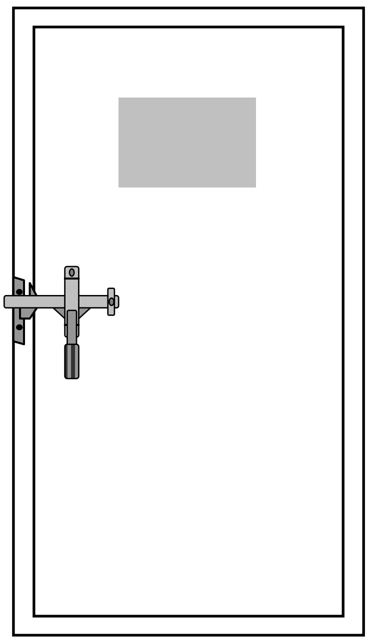
現場に『ナーサリーコンテナ』が搬入され、基礎（台座）に設置されてから、以下の作業をお願い致します。（基礎（台座）については、事前にイワタニか、ご購入窓口の販売代理店にお問合せ下さい。現場の地盤条件等が異なりますのでご注意下さい。『ナーサリーコンテナ』の風袋重量は、約７トンです。）

１．出入口ドアの取付け
２．換気扇ユニットの取付け
３．クールセルモジュールの取付け
４．ＰＳＩヒーターの取付け
５．一・二次側電気配線、換気扇の結線
６．一・二次側給水配管の設置及び接続
７．排尿パイプの接続
８．一次側ガス供給設備とＰＳＩヒーターとの接続
９．照明用電球の取付け
１０．エアマットカーテンの取付け
１１．ＰＲＥＣＩＳＩＯＮ　２Ｖ２コントローラーのセッティング

１．出入口ドアの取付けについて

出入口ドアは、海上輸送の関係上、取外してきており、現場で取付けなければなりません。
コンテナ内に梱包されて来たドア本体を､蝶番･ビス等付属の取付け部品にて取付けをお願いします。



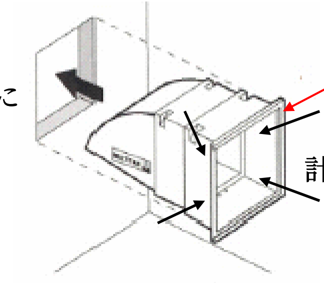


完成図

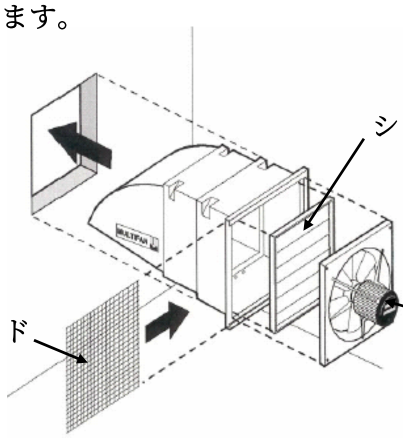
2．換気扇ユニットの取付けについて

換気扇ユニットも、海上輸送の関係上、取外してきております。 コンテナ内に梱包されて来た換気扇ユニットを、下記の要領で取付けをお願いします。 尚、防水・気密の関係上、フード回りは舎内・外側共コーキング処理をおこなって下さい。

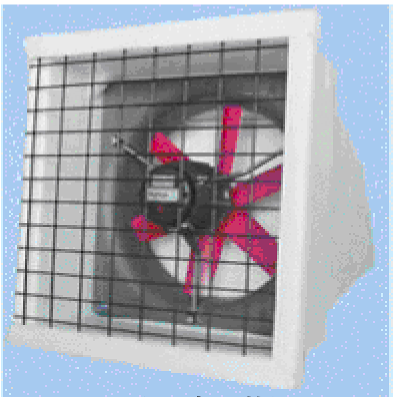
1．フードを、コンテナ開口部に、室内側からはめ込みます。
この時、右図の「エッジ」部が完全に内壁面にあたる様に奥まではめ込む様にして下さい。
更にフードの内側から４箇所コーチボルト止めします。



2．フードを壁面に固定したら、シャッター（ルーバーが外側に開く様に注意)、ファン本体、ガードの順に右図の様にフードにはめ込みます。
ビス等での固定の必要は一切ありません。
フードには、シャッター、ファン本体がピタリと、はめ込める様、凹凸がついています。



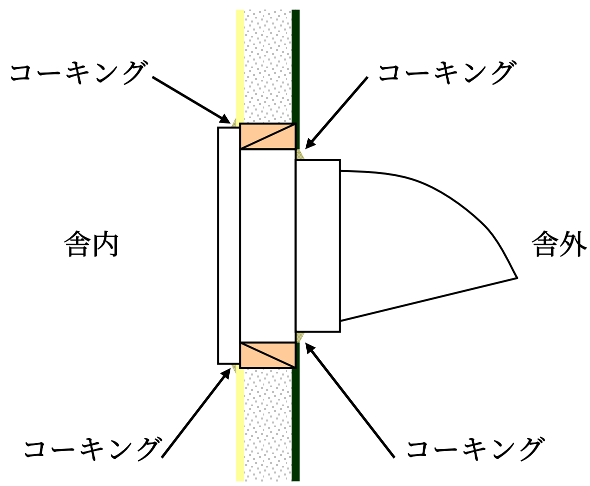
3．最後に、フードの舎内・外側共、開口部周りのコーキング処理を必ずおこなって下さい。



はめ込み完了状況



取付け完了状況（コンテナ外部）



３．クールセルモジュールの取付けについて

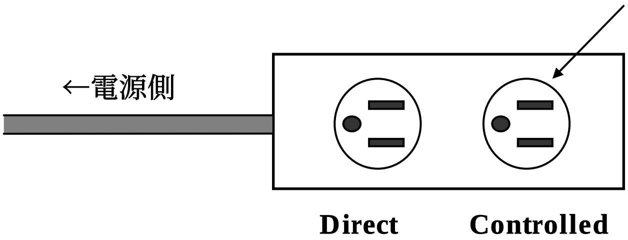
クールセルモジュールも、海上輸送の関係上、取外してきております。 コンテナ内に梱包されて来たクールセルモジュールを、ビス等付属の取付け部品にて、コンテナ外壁側開口部に取付けて下さい。
尚、防水・気密の関係上、モジュール回りはコーキング処理をおこなって下さい。

さらに、実際クールセル機能をお使いになる場合は、別途、『ナーサリーコンテナ』ご購入窓口の代理店にお問い合わせ下さい。 必要部材・機器及び施工内容をご指導致します。

４．ＰＳＩヒーターの取付けについて

別送されてきます、ＰＳＩヒーターを室内天井の取付フックに、付属の吊り下げ用チェーンにて取付けて下さい。 ＰＳＩヒーターの取扱詳細については、別添のＰＳＩヒーター『取扱説明書』をご参照下さい。

尚、ヒーターの電源は、『ナーサリーコンテナ』のすべての機器の調整が完全に済んでから、天井にあるコンセントに接続して下さい。 ガス供給圧力は、低圧（２８０**mm wc**）です。 ガス供給会社にガス配管・接続は依頼して下さい。
※「**Controlled**」コンセントにＰＳＩの電源プラグを差し込んで下さい。



〔天井ヒーター用コンセント〕



また、ヒーターの温風吹出し口には、必ず付属の「エアダイバーター」を取付け、温風を左右に振る様にして下さい。(※エアダイバーターを取付けませんと、温風が直接水道配管等に当り、トラブルを生じる場合がありますので、ご注意下さい。)

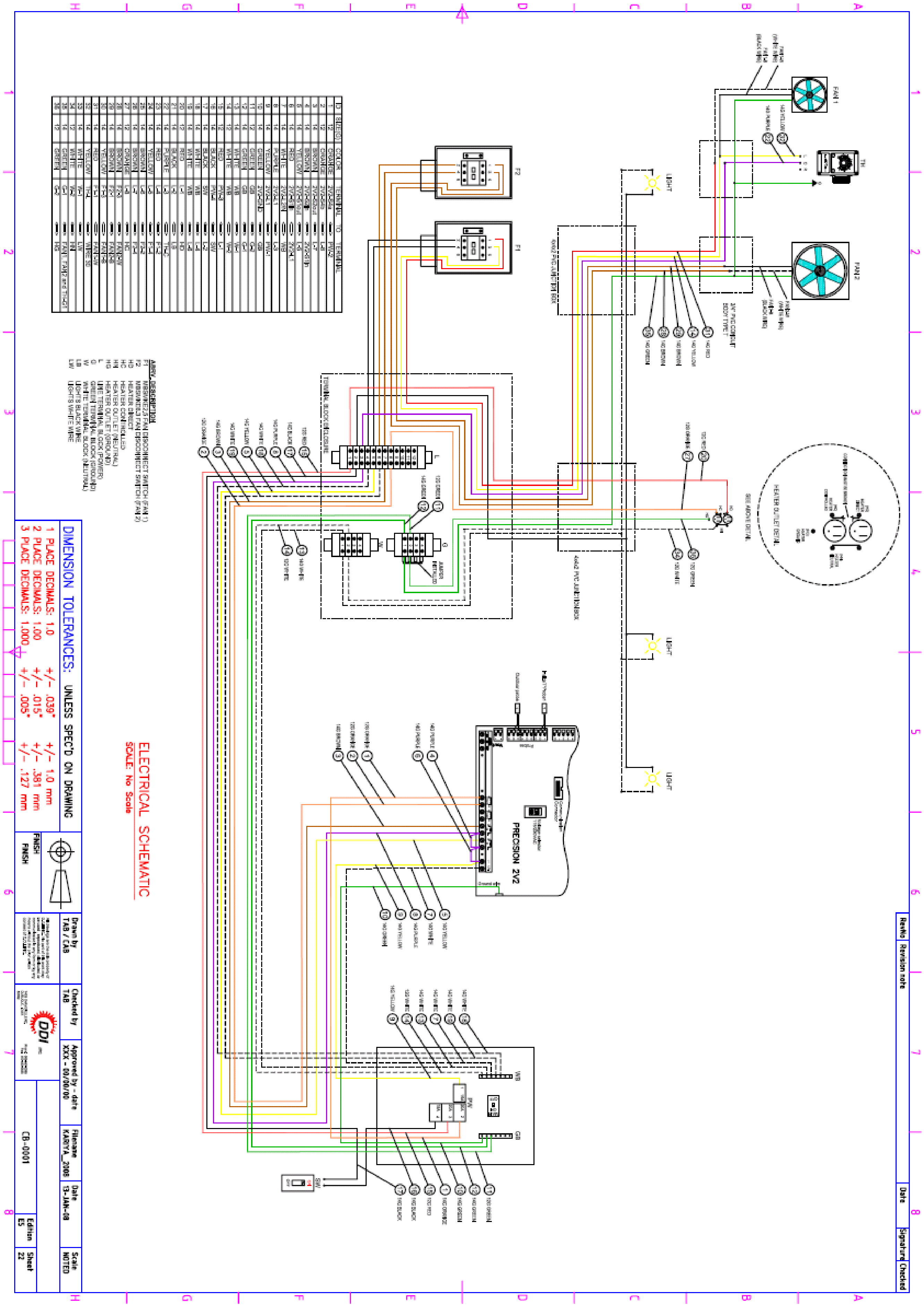
５．一・二次側電気配線、換気扇の結線について

換気扇ユニットの取付けが済みましたら、『ナーサリーコンテナ』の外壁面へ受電・分電盤を取付け、一次側、二次側の電気配線を接続して下さい。 また、二次側の換気扇ユニット用の電気配線を、換気扇に接続して下さい。
それぞれの結線の仕方は、次頁の通りです。 次頁を参考に、他の全ての、電気配線の結線についても、念のためチェックして下さい。万が一結線ミスがあった場合は､次頁の通りに再度結線し直して下さい。
※この時点では、まだ電源をＯＮには絶対にしない様、十分ご注意下さい。
※二次側電気配線を通したコンテナ壁面の配線用スリーブは、防水・気密の関係上、必ずコーキング処理をおこなって下さい。

『ナーサリーコンテナ』の電源は、基本的に単相１００Ｖ，６０／５０Ｈｚです。
内部機器の電気容量（消費電力）は，下記の通りです。

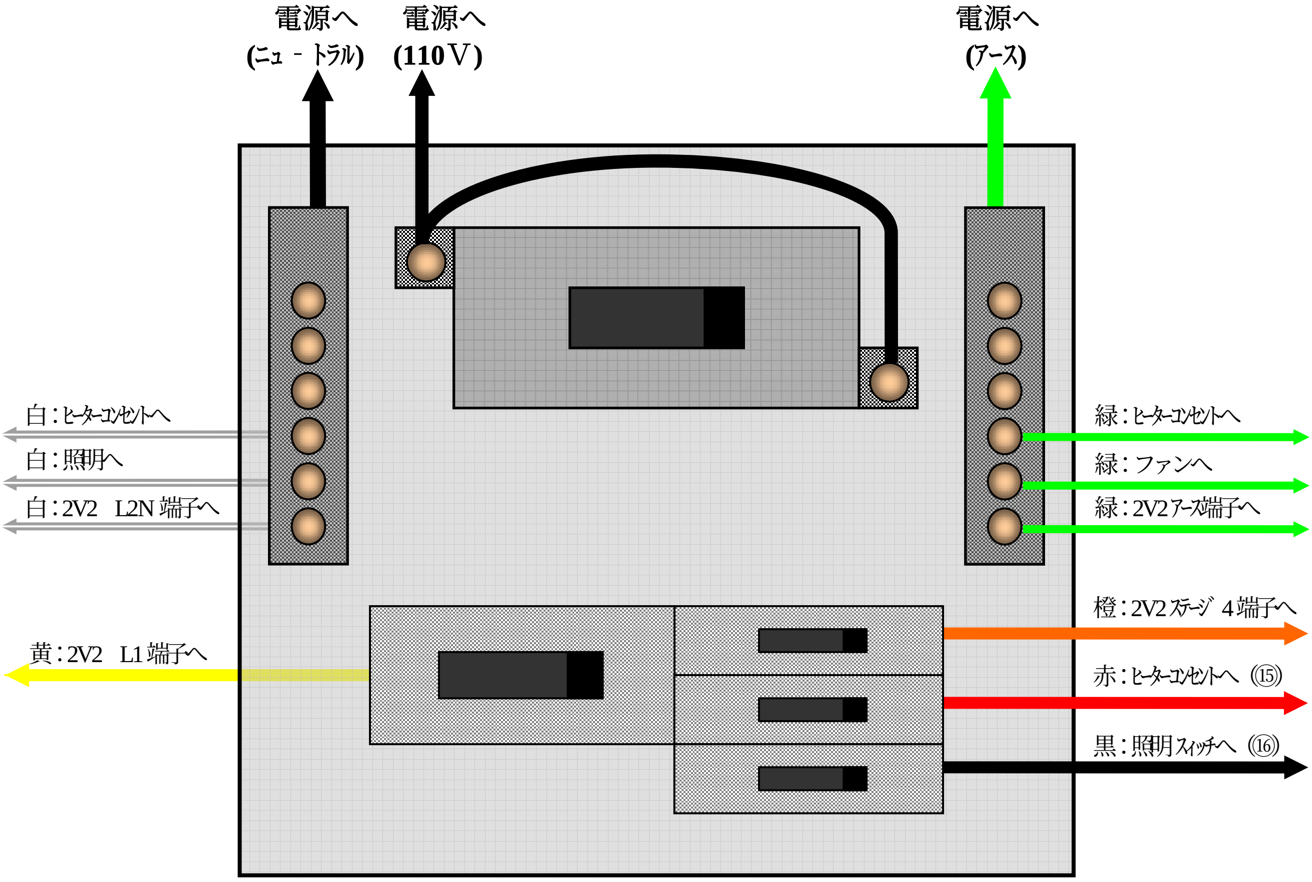
①	**PH4E30Q 12”**マルチファンシステム１型	単相１００Ｖ，１１０Ｗ，１.１**A**	１台
②	**PH4E45Q 18”**マルチファンシステム１型	単相１００Ｖ，３１０Ｗ，３.１**A**	１台
③	**PRECISION　2V2** ファンコントローラー	単相１００Ｖ	１台
④	**TH-15** 型バックアップサーモスタット	単相１００Ｖ	１台
⑤	**PSI40or60P** 型ガス温風ヒーター	単相１００Ｖ，７５Ｗ，０.８**A**	１台
⑥	照明機器（※電球別途）	単相１００Ｖ，４０Ｗ**or**６０Ｗ	３台

Ⅰ．全体結線図

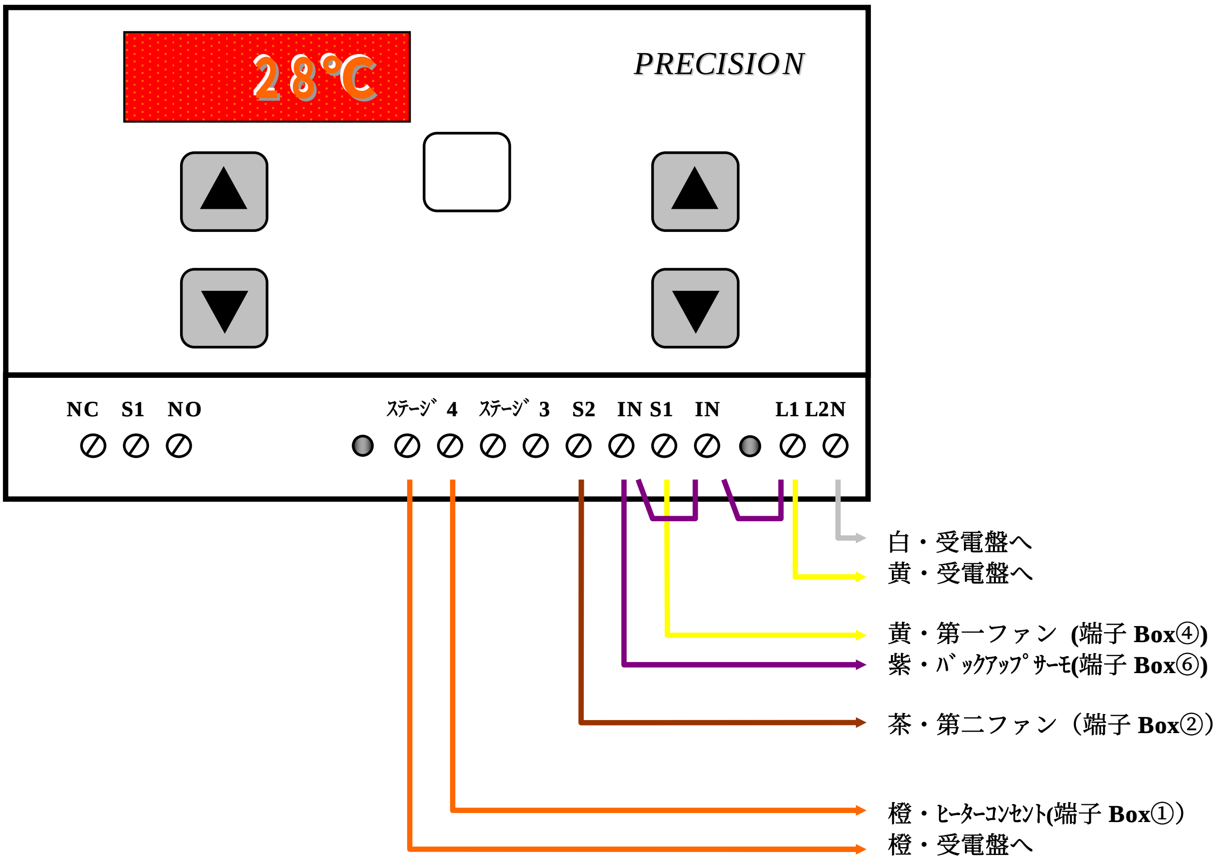


ELECTRICAL SCHEMATIC
SCALE: No Scale
DIMENSION TOLERANCES: UNLESS SPEC'D ON DRAWING
1 PLACE DECIMALS: 1.0 +/- .039" +/- 1.0 mm
2 PLACE DECIMALS: 1.00 +/- .015" +/- .381 mm
3 PLACE DECIMALS: 1.000 +/- .005" +/- .127 mm
PRECISION 2V2
FAN 1
FAN 2
F1
F2
TH
LIGHT
LIGHT
LIGHT
SEE ABOVE DETAIL
HEATER OUTLET DETAIL
4x4x2 PVC JUNCTION BOX
4x4x2 PVC JUNCTION BOX
TERMINAL BLOCK ENCLOSURE
ABRV DESCRIPTION
FINISH
Drawn by TAB / CAB
Checked by TAB
Approved by - date XXX - 00/00/00
Filename KARYA_2008
Date 13-JAN-08
Scale NOTED
CB-0001
Edition E5
Sheet 22
Rev.No
Revision note
Date
Signature
Checked

Ⅱ. 受電・分電盤結線図

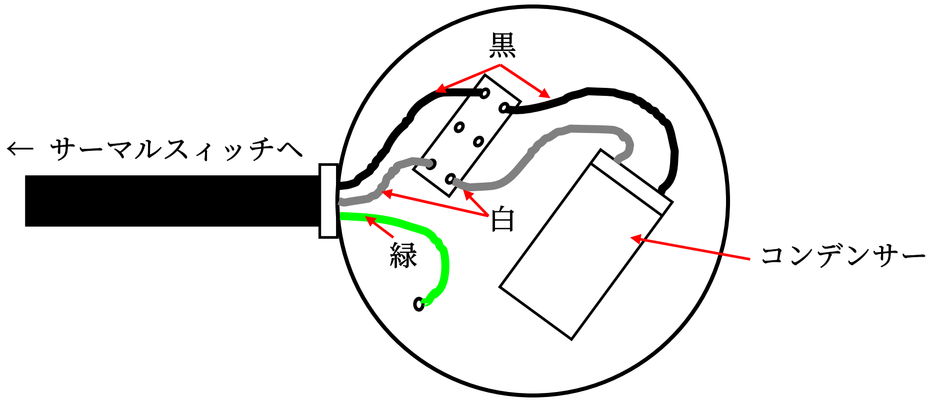


Ⅲ. 2 V2 端子結線図



Ⅳ. その他主要箇所結線図

① ファンモーター部



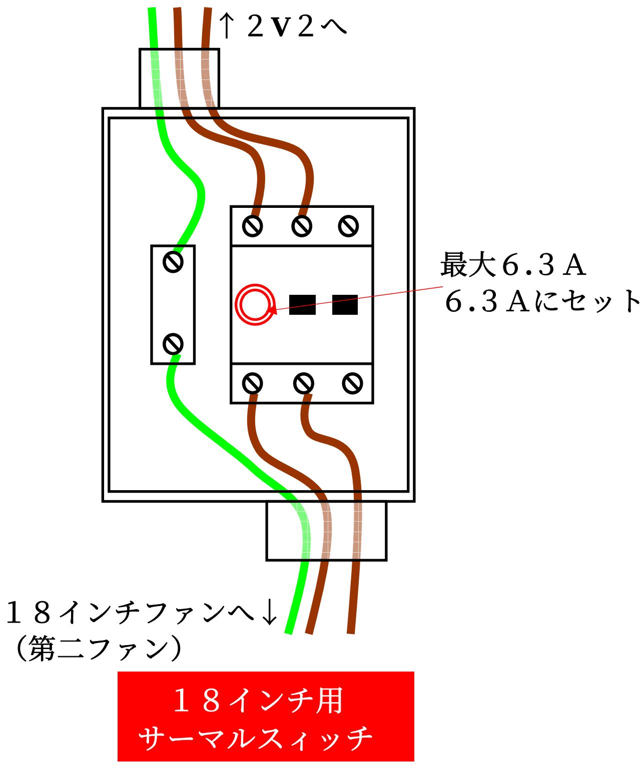


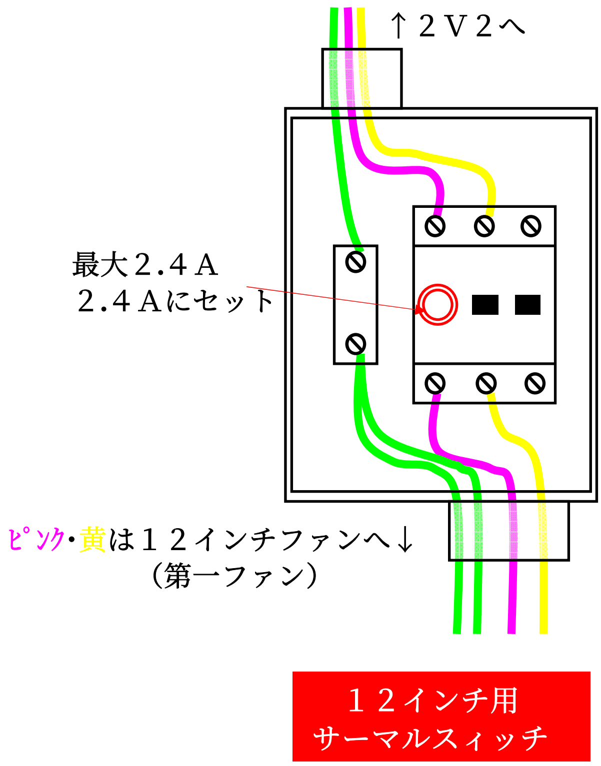
（結線前）



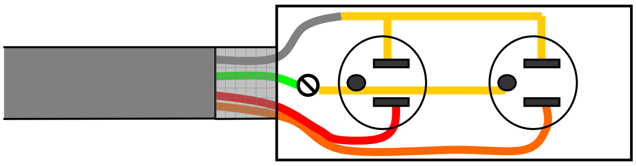
（結線後）

② サーマルスイッチ部

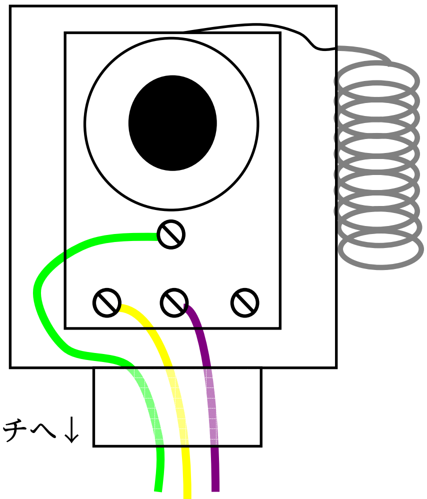




③ ヒーターコンセント部



④ ＴＨ－１５サーモスタット部



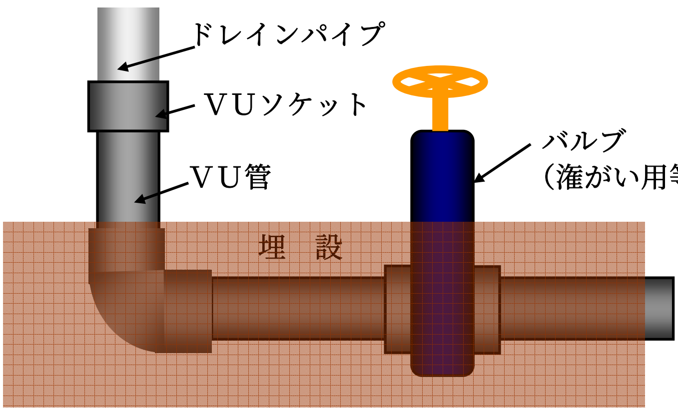
６．一・二次側給水配管設置及び接続について

一・二次側の給水配管は含まれておりません。 ＶＰ１６等を用い、現場で敷設します。
外部は、凍結に注意し、適正水圧は、１～２ｋｇ程度です。
内部のＶＰ末端にはタケノコノズルを取付け、壁に取付けられている「アップダウン給水ブラケット」の耐圧給水ホースに接続し、ホースバンド等でしっかりと止めて下さい。

コンテナ壁に開けられた導管スリーブは、防水・気密の関係上、配管敷設後に必ずコーキング処理をおこなって下さい。

７．排尿パイプの接続について

この『ナーサリーコンテナ』は、糞尿混合・溜式ピット方式で、ピット容量は約２m^3 です。（基礎（台座）の高低で水勾配を付けた場合）
従って、排尿パイプを接続する必要があります。 ピット下部・外部に突き出ているドレインパイプに、現場手当てのＶＵ１００パイプ等を排尿パイプとして接続して下さい。 ドレインパイプはステンレス製で、内ネジが切ってありますので、ＶＵ１００用のソケットで接続します。
※排尿パイプは、必ず地面等から支持して下さい。 ドレインパイプに荷重が掛かると、ピットを破損する恐れがあります。

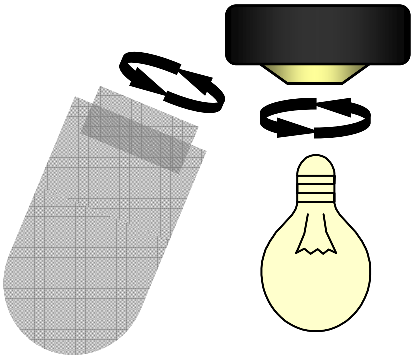


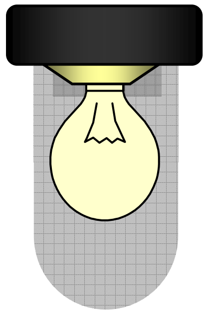
８．一次側ガス供給設備とＰＳＩヒーターとの接続について

ＰＳＩヒーターへ一次側ガス供給配管を接続します。 ガス供給方法の詳細は、ガス供給会社と十分に協議の上、決定下さい。 ガス配管は、１／２インチ配管で、ＰＳＩヒーターの側にバルブを設けます。（ヒューズコックが望ましい） その後、通常のガスホースでＰＳＩヒーターと配管をつなぎます。ガス供給圧力は２８０mm ｗｃです。 ＰＳＩヒーターのお取扱いについては、別添のＰＳＩヒーター「取扱説明書」をご参照下さい。

９．照明用電球の取付けについて

照明機器は、電球を除いて取付けてあります。 ガラス製カバーを回しながら取外し、通常の電球を取付けます。（３箇所あります。） 電球は、白熱球１００Ｖ、４０もしくは６０Ｗが適当です。

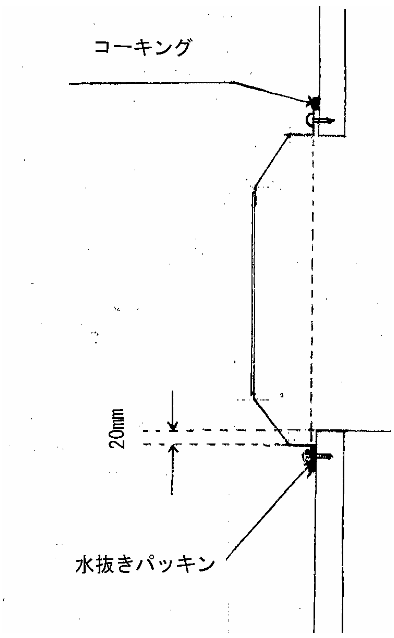




１０．エアマットカーテンの取付けについて



木枠の上に、エアマットカテーンを取付けます。
水漏れ防止のため、右図のように、木枠縁より、約 **20**mm 下げて取付けて下さい。
上部ガード部は、コーキングをして下さい。
下部ガード部は、水抜きのパッキンをつけて、
ビス止めして下さい。

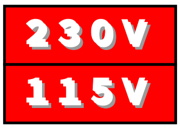


１１．ＰＲＥＣＩＳＩＯＮ　２Ｖ２コントローラーのセッティングについて

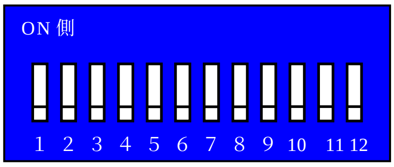
最後に、ＰＲＥＣＩＳＩＯＮ　２Ｖ２コントローラーのセッティングをおこなって下さい。
まず、電気配線の結線や、換気扇ユニット、ＰＳＩヒーター等の取付けがすべて間違いなく完了した事をご確認下さい。　（ＰＳＩヒーターの電源コードは、まだ、コンセントには差し込まないで下さい。）

ご確認後、まず受電・分電盤のメイン電源スィッチをＯＮにして下さい。 この時点で、照明器具のスィッチもＯＮにすれば、照明も点灯します。 更に受電･分電晩内の各電源スィッチをＯＮにすると、２Ｖ２コントローラーに通電し、パネル表示が点灯します。 それを確認したら、コントロールパネル（カバー）を開けて下さい。

中に２つの切換えスィッチがあります。

１つは、

の表示スィッチが、本体側にあり、ここでは、１１５Ｖ側にセットして下さい。

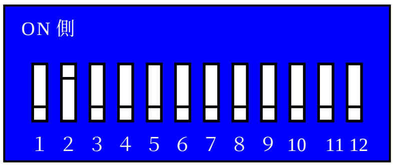
もう１つは、

の表示スィッチが、カバー側にあります。これをディップスィッチといいます。

このディップスィッチの機能的内容は、以下の表の通りで、白いツメを **ON** 側か **OFF** 側かにセットする事によって、機能が切換わります。

OFF 側	**ON** 側	ﾂﾒ番号
ロック解除	ロック状態	1
°**F**（華氏表示）	℃（摂氏表示）	2
ｾﾝｻｰ **2** 無効状態	ｾﾝｻｰ **2** 有効状態	3
ｾﾝｻｰ **3** 無効状態	ｾﾝｻｰ **3** 有効状態	4
ｾﾝｻｰ **4** 無効状態	ｾﾝｻｰ **4** 有効状態	5
暖房ｽﾃｰｼﾞではない	暖房ｽﾃｰｼﾞである	6
ﾋｰﾀｰ　**1** 個	ﾋｰﾀｰ　**2** 個	7
ｶｽｹｰﾄﾞ型ﾋｰﾀｰ	ｿﾞｰﾝ型ﾋｰﾀｰ	8
ﾐｽﾄ無効状態	ﾐｽﾄ有効状態	9
調整可能なﾋｽﾃﾘｼｽ	固定ﾋｽﾃﾘｼｽ **1.0**℃	１０
凍結防止無効状態	凍結防止有効状態	１１
「ｵﾌ」から「ｵﾝ」に切り替えて転送ﾒﾆｭｰにアクセスする		１２

コントローラーの機能設定をおこなう場合は、必ず２のツメを **ON** にセット して下さい。



← この様にセットします。

以上を完了したら、一旦コントロールパネル（カバー）を閉めておきます。
別添の「**PRECISION　2V2** 取扱説明書」によって、各機能を設定した後、コントロールパネルをしっかりと固定し、ＰＳＩヒーターの電源コードをコンセントに差し込みます。
ＰＳＩヒーターの種火を点火し、その他機器共、正常に作動すればすべて完了です。
もし、不具合な事象が見られた場合は、今までの作業内容をもう一度チェックし直し、万が一不具合が解消されない場合は、ご購入窓口の販売代理店か、イワタニにお問合せ下さい。

メンテナンスとアフターサービスについて

万が一故障等が起きた場合、速やかに対応できる様にするため、お手数ですが、コンテナお引渡し時に、イワタニ・ケンボロー株式会社が発行しております、「引渡・試運転確認書」にご署名とご捺印の上、当該担当者に同確認書をご提出頂きます様、お願い申し上げます。

2009.12.21 Ver.3 (Thevco)

Thevco PRECISION 2V2

（テプコ **PRECISION** ２Ｖ２型 換気コントローラー）

取扱説明書

●輸入総発売元・問い合わせ先
イワタニ・ケンボロー株式会社

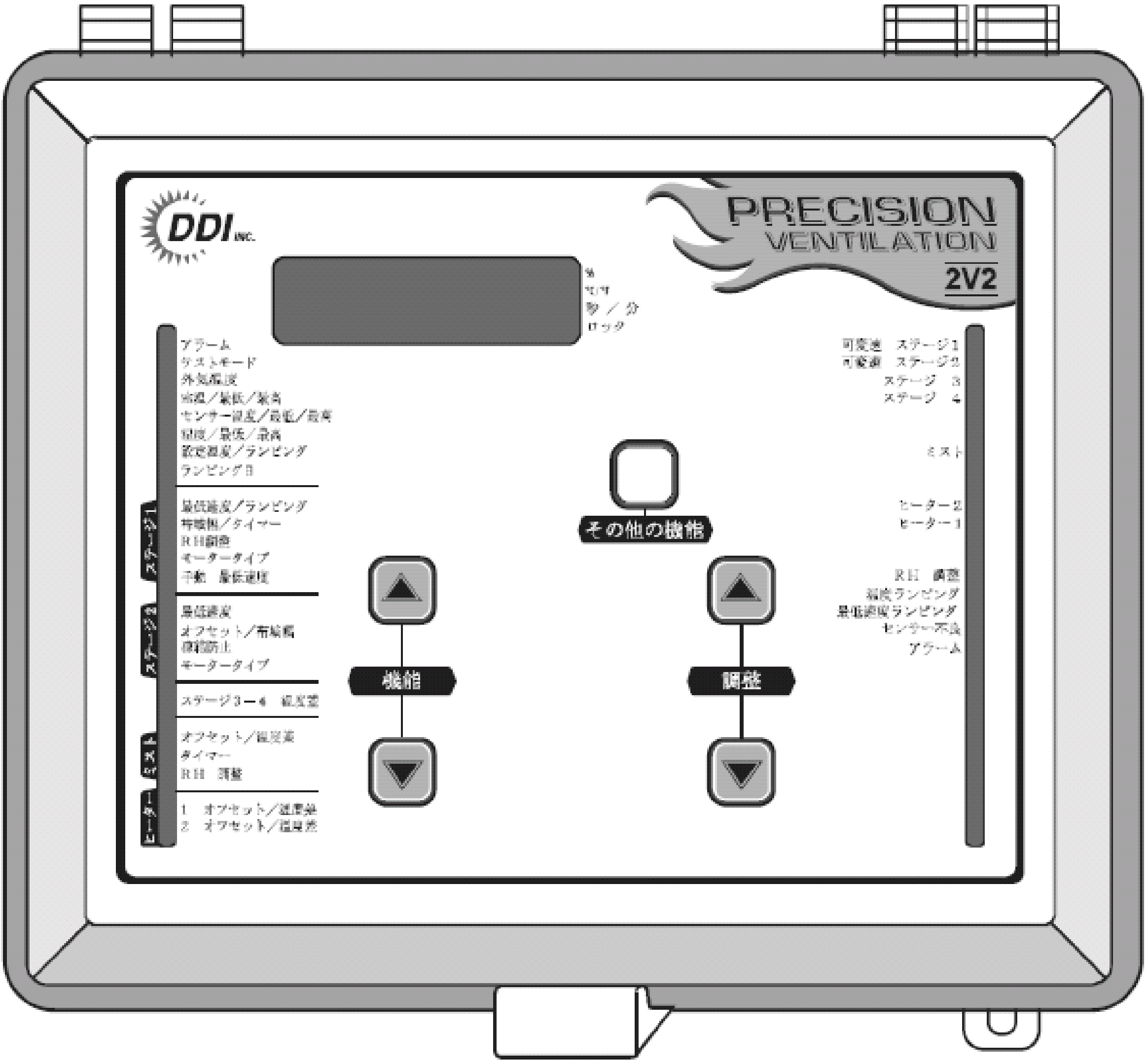
札幌営業所	TEL011(807)8261	FAX011(702)0555
東北営業所	TEL0197(22)8301	FAX0197(22)8304
東京営業所	TEL03(3668)5360	FAX03(3668)5368
大阪営業所	TEL06(6536)6431	FAX06(6536)6291
九州営業所	TEL0985(23)5543	FAX0985(23)5561

岩 谷 産 業 株 式 会 社
自 然 産 業 本 部
TEL03(5405)5922 FAX03(5405)5635

Iwatani

全 体 図

テプコ　ＰＲＥＣＩＳＩＯＮ　２Ｖ２換気コントローラーは、**『ナーサリーコンテナ』**の心臓部にあたり、基本的には、２台の可変速換気扇と、１台の温風ヒーター、**1** 台のミストを自動的に連動させ、室内の環境をコントロールする多機能搭載の制御機器です。 コントロールパネルは、下図の様な外観です。



『機能ボタン』で<u>ステージ選択、</u>『その他の機能ボタン』で項目選択
『調整ボタン』で数値を設定するのが基本的作業になります。

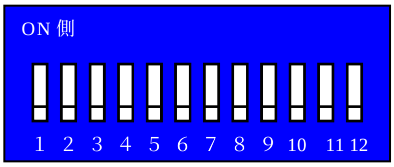
はじめにおこなう設定について

まず、コントロールパネル（カバー）を開けて下さい。

中に２つの切換えスィッチがあります。

１つは、 230V / 115V の表示スィッチが、本体側にあり、使用電圧側にセットして下さい。

もう１つは、

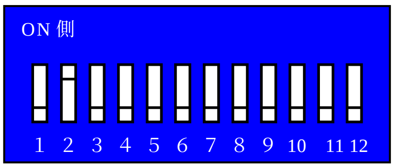


の表示スィッチが、カバー側にあります。これをディップスィッチといいます。

このディップスィッチの機能的内容は、以下の表の通りで、白いツメを **ON** 側か **OFF** 側かにセットする事によって、機能が切り替ります。

OFF 側	**ON** 側	ﾂﾒ番号
設定値ロック解除	設定値ロック状態	1
ﾟ **F**（華氏表示）	℃（摂氏表示）	2
ｾﾝｻｰ **2** 無効状態	ｾﾝｻｰ **2** 有効状態	3
ｾﾝｻｰ **3** 無効状態	ｾﾝｻｰ **3** 有効状態	4
ｾﾝｻｰ **4** 無効状態	ｾﾝｻｰ **4** 有効状態	5
暖房無効状態	暖房有効状態	6
ﾋｰﾀｰ **1** 個	ﾋｰﾀｰ **2** 個	7
OFF 固定	―	8
ﾐｽﾄ無効状態	ﾐｽﾄ有効状態	9
OFF 固定	―	１０
凍結防止無効状態	凍結防止有効状態	１１
「ｵﾌ」から「ｵﾝ」に切り替えて転送ﾒﾆｭｰにアクセスする		１２

1 番のツメが **ON** 状態でも設定温度・ステージ１最低換気速度の設定変更は可能です。
コントローラーの機能設定をおこなう場合は、必ず２のツメを **ON** にセット して下さい。



← この様にセットします。

以上を完了したら、一旦コントロールパネル（カバー）を閉じて、４隅のネジで仮止めしておきます。

機能設定ステージについて

１．【基準温度設定】

機能ボタン↑↓「設定温度／ランピング」→調整ボタン↑↓

例）２０とセットした場合は、２０℃を表します。

２．【第一ファン最低回転速度の設定】

機能ボタン↑↓ステージ **1**「最低速度／ランピング」→調整ボタン↑↓

例）４０とセットした場合は、最大回転を１００%としたときの４０%で回転するということです。
設定値の目安は、４０で、これ以下に設定しますと、外風の影響の可能性があります。

３．【第一ファン最大回転速度到達温度の設定】

機能ボタン↑↓ステージ **1**「帯域幅／タイマー」→調整ボタン↑↓

例）２とセットした場合は、「設定温度／ランピング」で２０℃設定の場合、室温が２２℃になった時に、第一ファンが最大回転速度になるということです。
設定値の目安は、１．５～２で、冬は高めに、夏は低めに設定します。

４．【第一ファン間欠運転用サイクルタイマーの設定】

機能ボタン↑↓ステージ１「帯域幅／タイマー」→その他の機能ボタン→調整ボタン↑↓→その他の機能ボタン→調整ボタン↑↓

例）「**t　ON**」を１５と設定し、「**t　OFF**」を１５と設定すると、１５秒回転し１５秒休止するという動作を繰り返しおこなう様になります。「**t　OFF**」を０設定で、この機能は解除となります。
「**t　ON**」を０設定にすると最低換気が出来なくなります。

５．【ステージ１モータータイプ・ステージ２モータータイプの設定】

機能ボタン↑↓ステージ **1**「モータータイプ」→その他の機能ボタン→調整ボタン↑↓６→機能ボタン↑↓ステージ２「モータータイプ」→その他の機能ボタン→調整ボタン↑↓５

６．【第一ファン手動速度の設定】

機能ボタン↑↓ステージ１「手動　最低速度」→調整ボタン↑↓

例）４０と設定した場合は、単位は%で、最大回転を１００%に対して４０%で回転します。

７．【第二ファン最低回転速度の設定】

機能ボタン↑↓ステージ２「最低速度」→調整ボタン↑↓

例）４０とセットした場合は、最大回転を１００%としたときの４０%で回転するということです。

設定値の目安は、４０で、これ以下に設定しますと、外風の影響の可能性があります。

８．【第二ファンオフセットの調整】

機能ボタン↑↓ステージ２「オフセット／帯域幅」→調整ボタン↑↓

例）１とセットした場合は、設定温度２０℃、ステージ１帯域幅２℃と設定をした場合、２３℃で第二ファンが回転開始をします。

９．【第二ファン最大回転速度到達温度の設定】

機能ボタン↑↓ステージ２「オフセット／帯域幅」→その他の機能ボタン→調整ボタン↑↓

例）２とセットした場合は、＋「設定温度」２０℃＋ステージ**1**「帯域幅」２℃＋ステージ２「オフセット」**1**℃と設定であるとした場合、室温が２５℃になった時に、第二ファンが最大回転速度になるということです。

10.【第二ファン凍結防止の設定】

凍結防止機能を有効状態にする為には、ディップスイッチ１１を「**ON**」にして下さい。
機能ボタン↑↓ステージ２「凍結防止」→調整ボタン↑↓→その他の機能ボタン→調整ボタン↑↓

例）サイクルタイムを１と設定し、「**t　ON**」を１５と設定した場合、４５秒休止し、１５秒回転するということです。これを**1**分間隔で繰り返します。

11.【ステージ３－４温度設定】

機能ボタン↑↓「ステージ３－４温度差」→調整ボタン↑↓→その他の機能ボタン→調整ボタン↑↓。

例）「３ **dif**」を１と設定し、「設定温度」２０℃＋ステージ**1**「帯域幅」２℃＋ステージ２「オフセット」１℃＋ステージ２「帯域幅」２℃で設定した場合、２６℃で第三ファンが作動し２５℃で停止します。
「４ **dif**」を１℃と設定した場合は、２７℃で第四ファンが作動し２６℃で停止します。
但しディップスイッチ６，７が **ON** の場合、この機能は使用不可です。

12.【ミスト温度の設定】

ミスト機能を有効状態にする為には、ディップスイッチ９を「**ON**」にして下さい。
機能ボタン↑↓ミスト「オフセット／温度差」→調整ボタン↑↓→その他の機能ボタン→調整ボタン↑↓→機能ボタン↑↓→調整ボタン↑↓→その他の機能ボタン→調整ボタン↑↓

例）「設定温度」を２０℃、「オフセット」温度を１、「温度差」を１、「**t　ON**」を１５、「**t　**ＯＦＦ」を１と設定した場合、２２℃でミストが１５秒作動し１分休止の動作を２１℃になるまで、繰り返し行います。
但しディップスイッチ７がＯＮの場合、この機能は使用不可です。

13.【温風ヒーターの設定】

ヒーター機能（１台）を有効状態にする為には、ディップスイッチ６を「**ON**」にして下さい。
ヒーター機能（２台）を有効状態にする為には、ディップスイッチ６、７を「**ON**」にして下さい。
機能ボタン↑↓ヒーター**1**「オフセット／温度差」→調整ボタン↑↓→その他の機能ボタン→調整ボタン↑↓→機能ボタン↑↓ヒーター２「オフセット／温度差」→調整ボタン↑↓

例）「設定温度」２０℃、ヒーター１「オフセット」温度を０.５、「温度差」１.５と設定した場合、ヒーター１は１８℃でヒーターが作動し、１９.５℃で停止します。

14. 【ランピング機能の設定】

機能ボタンを「設定温度／ランピング」に合わせ、その他の機能ボタンを押すと「ｄ０　数値」が表示し調整ボタンにて収容日数を設定します。さらに、その他の機能ボタンを押すと「ｔ０　数値」が表示し、調整ボタンにて温度設定をします。この作業を「ｄ０　数値」～「ｄ９　数値」、「ｔ０　数値」～「ｔ９　数値」を繰り返し行います。そして、最後にＯＦＦと表示されるので調整ボタンにてＯＮにします。
この機能は、収容している子豚の成長に合わせて、室温を自動的にかつ段階的に下げていくことができるものです。
※但し、ここでは、「設定温度」で基準温度を子豚の成長に応じて設定しなおすので、この機能は使いません。ＯＦＦと設定して下さい。
（ランピング機能をＯＮにすると、「設定温度」の基準温度が自動的にロックされてしまいますので、ご注意下さい。 尚、その時、設定を変更する場合は、ＯＦＦに設定して下さい。）

15. 【ランピング調整機能の設定】

機能ボタンを「ランピング日」に合わせ、「ｄａｙ」と数値が交互に表示し調整ボタンにて収容日数の調整を設定します。
（ランピング機能でＯＦＦ設定をしていると、この機能はＯＦＦ表示になります。）

16. 【第一ファン最低換気ランピング機能の設定】

機能ボタンをステージ **1**「最低速度／ランピング」に合わせ、その他の機能ボタンを押すと
「ｄ０　数値」が表示し調整ボタンにて収容日数を設定します。さらに、その他の機能ボタンを押すと
「Ｐ０　数値」が表示し、調整ボタンにて第一ファン最低回転速度**(**単位：**%)**を設定します。
この作業を「ｄ０　数値」～「ｄ９　数値」、「Ｐ０　数値」～「Ｐ９　数値」を繰り返し行います。そして、最後にＯＦＦと表示されるので調整ボタンにてＯＮにします。
この機能は、収容している子豚の成長に合わせて、最低換気速度を調整する機能です。
(ランピング機能をＯＮにすると、ステージ１「最低速度」の最低回転速度が自動的にロックされてしまいますので、ご注意下さい。 尚、その時、設定を変更する場合は、ＯＦＦに設定して下さい。）

17. 【最低室温・最高室温の記憶の表示】

機能ボタン↑↓「室温／最低／最高」→現在室温**(**平均値**)**→調製ボタン↓最低室温→調整ボタン↑↑最高室温
＊表示の点滅が１０秒以上続くと最低温度と最低温度がリセットされます。リセットを防ぐには、調整ボタンにて現在室温表示に戻って下さい。

18. 【別センサー最低室温・最高室温の記憶の表示】

機能ボタン↑↓「センサー温度／最低／最高」→センサー**1** 現在室温→調製ボタン↓→センサー**1** 最低室温→調整ボタン↑↑→センサー**1** 最高室温→その他の機能ボタン→センサー**2** 現在室温→調製ボタン↓センサー**2** 最低室温→調整ボタン↑↑センサー**2** 最高室温が表示されます。この作業を繰り返します。
この機能は使用しているセンサーの本数分**(**最高４本**)**の最低室温・最高室温を記憶、表示します。
＊表示の点滅が１０秒以上続くと最低温度と最低温度がリセットされます。リセットを防ぐには、調整ボタンにて現在室温表示に戻って下さい。

19. 【最低外気温・最高外気温の記憶の表示】
機能ボタン↑↓「外気温度」→現在外気温→調製ボタン↓最低外気温→調整ボタン↑↑最高外気温が表示されます。
＊表示の点滅が１０秒以上続くと最低温度と最低温度がリセットされます。リセットを防ぐには、調整ボタンにて現在室温表示に戻って下さい。

20. 【異常低温警報・異常高温警報の設定】

機能ボタン↑↓「アラーム」→調整ボタン↑↓(低温度警報）→その他の機能ボタン→調整ボタン↑↓(高温度警報)→その他の機能ボタン「ｔｙPE　ＡＬＬ」(全てのセンサーの平均値)OR「ｉｎｄ」(個々のセンサー値）→調整ボタン(選択)→その他の機能ボタン→調整ボタン(限界高温度警報値)

【ＰＲＥＣＩＳＩＯＮ　２Ｖ２コントローラー機能設定早見表】

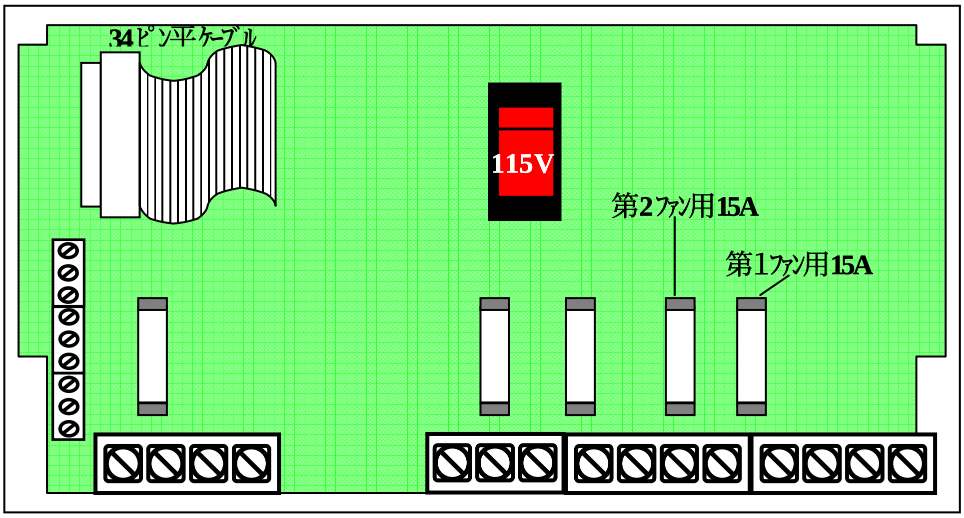
機　能　設　定　ス　テ　ー　ジ				
項目	機　能　設　定　内　容	冬期(厳寒期)	温暖期(春･秋)	夏期(酷暑期)
	設定温度(目標温度)	２２～３０(℃)	２２～３０(℃)	２２～３０(℃)
	ランピング	ＯＦＦ	ＯＦＦ	ＯＦＦ
ｽﾃｰｼﾞ **1**	最低速度(第一ファン最低速度)	４０(%)	４０(%)	４０(%)
	ランピング	ＯＦＦ	ＯＦＦ	ＯＦＦ
	帯域幅(第一ファン最大速度到達温度)	２(℃)	１.５(℃)	１.５(℃)
	タイマー	ＯＮ	ＯＮ	ＯＮ
	ＲＨ調整	５０(%)	５０(%)	５０(%)
	モータータイプ	６	６	６
	手動　最低速度	４０(%)	５０(%)	５０(%)
ｽﾃｰｼﾞ **2**	最低速度(第二ファン最低速度)	４０％	４０％	４０％
	オフセット	０(℃)	０(℃)	０(℃)
	帯域幅(第二ファン最大速度到達温度)	２(℃)	１.５(℃)	１.５(℃)
	凍結防止	**DSW11　ON** **ｻｲｸﾙ 60 分/ON15 秒**	**DSW11　OFF**	**DSW11　OFF**
	モータータイプ	５	５	５
ﾐｽﾄ	オフセット	**DSW９　OFF** ０(℃)	**DSW９　OFF** ０(℃)	**DSW９　ON** ０(℃)
	温度差			２～５℃
	タイマー	—	—	**ON**　１５(秒) **OFF**　０(分)
	RH　調整	９５(%)	９５(%)	９５(%)
ﾋｰﾀｰ	１オフセット	**DSW６　ON** ０(℃)	**DSW６　ON** ０(℃)	**DSW６　OFF** —
	温度差	１．５(℃)	１．５(℃)	３(℃)
	２オフセット	—	—	—
	温度差			

＊**DSW**＝ディップスイッチ

トラブルシューティングについて

現象及び症状	原因	対処法
ディスプレイが動かない	サービスパネルの回路遮断器がオフの状態または外れている。	回路遮断器をリセットして下さい
	配線に誤りがある	正しい配線にして下さい。
	入力部ヒューズが切れた	ヒューズを交換して下さい。
	電圧切り替えスイッチが間違った位置にある。	切り替えスイッチを正しい位置に設定して下さい。
	表示基板と本体基板の接続平ケーブルが外れている。	ケーブルを適切に接続して下さい
ディスプレイに「Ｐ」の文字が出る	センサー１の接続に誤りがある。	センサー１を正しく接続して下さい。
「センサー不良」の表示灯が点灯している	１個以上のセンサーが不良である	不良センサーを交換して下さい。
ディスプレイに突然の室温変動が表示された。	センサーに抵抗の変動が引き起こされた。	センサーが乾いていること。また放射加熱源及びその影響がある場所から離れていることを確認。
	センサーの拡張ケーブルの近くに電源的雑音がある。	センサーケーブを他の電源線に隣接しないよう配線をして下さい他の電源線と交差する場合は **90** 度に交差させて下さい。
ステージ゛１・ステージ２のファンが回転しない	配線に誤りがある。	正しく配線をして下さい。 特に **2** 本の異なる線が各モーターに接続されている事を確認して下さい。モーターを駆動させるにはコントローラーによって調整される線Ｌ１は別の線**(115V** にはＮ、**L2 230V** には **L2)**に結合される必要があります。また、ステージ１及び２の **COM** が線 **L**１から供給されているかを確認して下さい。
	ステージのヒューズが切れている	ヒューズを交換して下さい。
	表示基板と本体基板の接続平ケーブルが適切に接続されていない。	ケーブルがタブでしっかりと接続されていることを確認して下さい
	最低速度が低すぎる。	最低速度を高く調整して下さい。
	ファンのモータが不良である。	モーターを別の出力端子に接続して確認をして下さい。それでも動かない場合はモーターを交換して下さい。
	周囲温度が設定温度より高い	設定温度を望ましい値に調整して下さい。

【ヒューズ位置概略図】



ナーサリーコンテナ向け設定簡易マニュアル

アラームの設定

機能ボタン ▲ ▼ を押して、アラームを選択すると低温警報温度設定画面になり、ＬｏＡＬ　５．０ と交互に点滅表示されます。

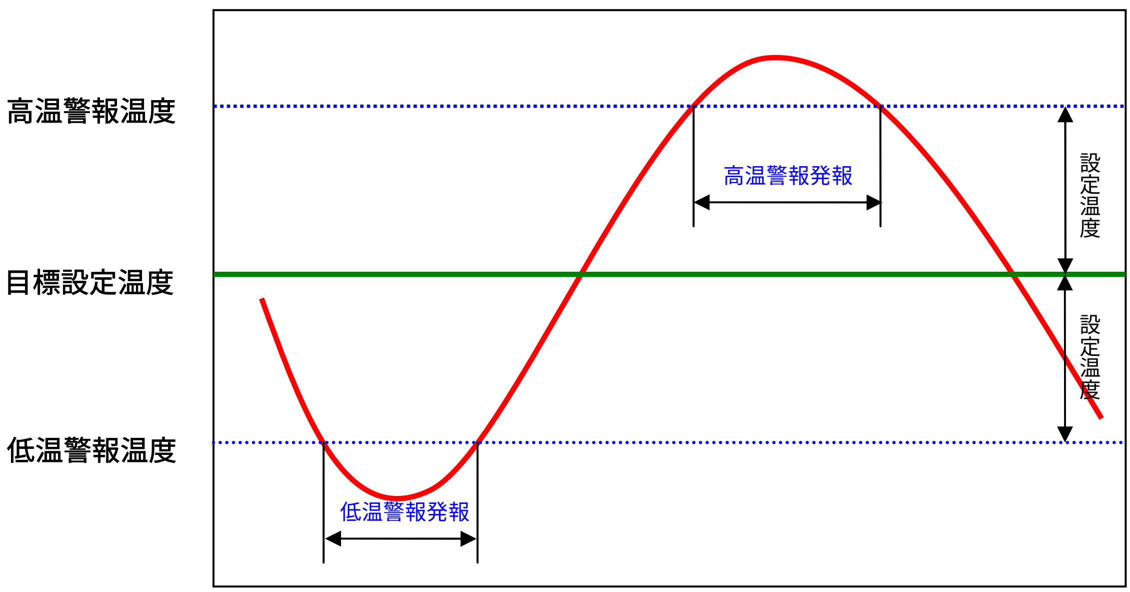
調整ボタン ▲ ▼ を押して温度を決めます。

その他機能ボタン □ を押すと高温警報温度設定画面になり、

ＨｉＡＬ　１０．０ と交互に点滅表示されます。

調整ボタン ▲ ▼ を押して温度を決めます。

警報発報説明図



テストモード

テストモード は、ＯＦＦ と表示されます。

外気温度

外気温度 は、センサーが接続されていない為、 Ｐ 表示です。

室温／最低／最高

機能ボタン▲ ▼ を押して、室温を選択すると現在の室温が、

２８．５ 表示されます。調整ボタン▲ を押すと ＨＩ　３５．８ と交互に表示され、記憶している最高室温を表示します。

また、調整ボタン ▼ を押すと Ｌｏ　１８．８ と交互に表示され、記憶

している最低室温を表示します。

センサー温度／最低／最高

機能ボタン ▲ ▼ を押して、センサー温度を選択すると

Ｐｒ１ Ｏｎ ２８.５ （Ｎｏ１のセンサーが働いていて、現在の室温が、28.5℃ですと言う意味です）と表示されます。

湿度／最低／最高

湿度センサーが接続されていませんので、使用できません。 Ｐ 表示です。

設定温度／ランピング

機能ボタン ▲ ▼ を押して、設定温度を選択すると現在の設定温度が点滅します。 ２８.０ のように表示され、点滅している数値は、調整ボタン ▲ ▼を押して変更することが、出来ます。

ランピングの機能は、使用しません。

ランピング日 は、 ＯＦＦ と表示されます。

ステージ１（第一ファン・小さいファン）

最低速度／ランピング

機能ボタン▲ ▼ を押して、最低速度を選択すると

ＳＰＰＥｄ ４０ と交互に点滅表示されます。点滅している数値は、調整ボタン▲ ▼ を押して、変更することが、出来ます。

ランピングの機能は、使用しません。

帯域幅／タイマー

機能ボタン▲ ▼ を押して、帯域幅を選択すると

ｂＡｎｄ　１．５　と交互に点滅表示されます。点滅している数値は、調整ボタン▲ ▼ を押して、変更することが、出来ます。

その他機能ボタン □ を押すと、タイマー設定画面になり

ヒ　Ｏｎ　１５　と交互に点滅表示されます。　もう一度、その他機能ボタン □ を押すと、ヒ　ＯＦＦ　０　と交互に点滅表示されます。

（タイマー機能は使用しませんので、この数値は変更しないで下さい。）

ＲＨ調整　は、センサーが接続されていない為、５０　表示で、変更しないで下さい。

モータータイプ

機能ボタン ▲ ▼ を押して、モータータイプを選択すると

ヒｙＰＥ　６　と交互に点滅表示されます。６で固定です。

手動最低速度

機能ボタン▲ ▼ を押して、手動最低速度を選択すると

ＳＰＰＥｄ　４０　と交互に点滅表示されます。点滅している数値は、調整ボタン▲ ▼ を押して、変更することが、出来ます。

ステージ２（第二ファン・大きいファン）

最低速度

機能ボタン▲ ▼ を押して、最低速度を選択すると

ＳＰＰＥｄ　４０　と交互に点滅表示されます。点滅している数値は、調整ボタン▲ ▼ を押して、変更することが、出来ます。

オフセット／帯域幅

機能ボタン▲ ▼ を押して、オフセットを選択すると

ＯＦＳＥヒ　０.０　と交互に点滅表示されますが、０.０のままでお願いします。その他機能ボタン □ を押すと帯域幅の設定画面になり

ｂＡｎｄ　１.５と交互に点滅表示されます。

凍結防止　は、使用しません。　－－－－－　の表示です。

モータータイプ

機能ボタン▲ ▼ を押して、モータータイプを選択すると

ヒｙＰＥ　５　と交互に点滅表示されます。５で固定です。

ステージ　３－４温度差

ファンが２台しか接続されていませんので、使用しません。

ミスト　は接続されていませんので使用しません。

ヒーター　ガス温風ヒーター

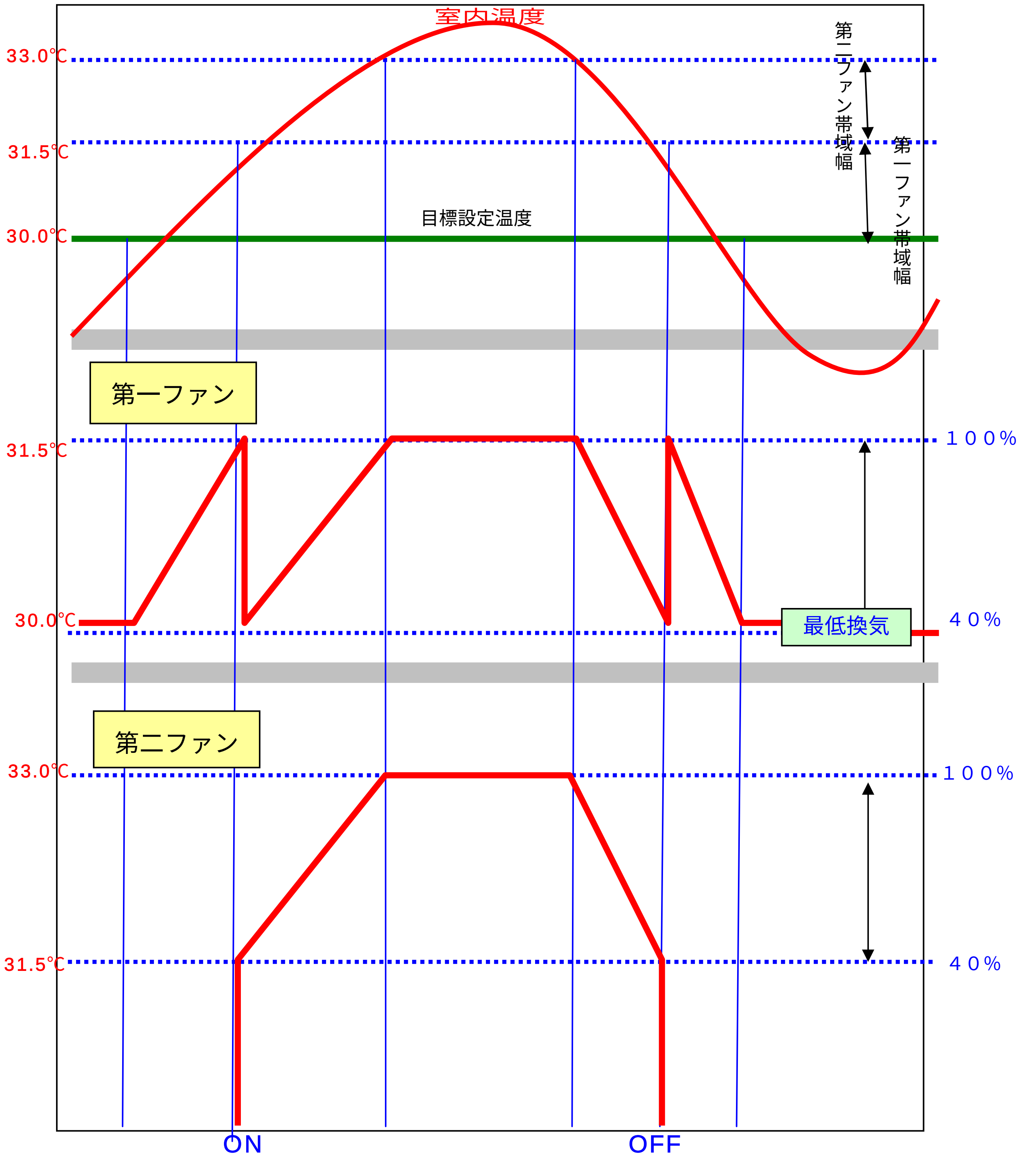
オフセット／温度差

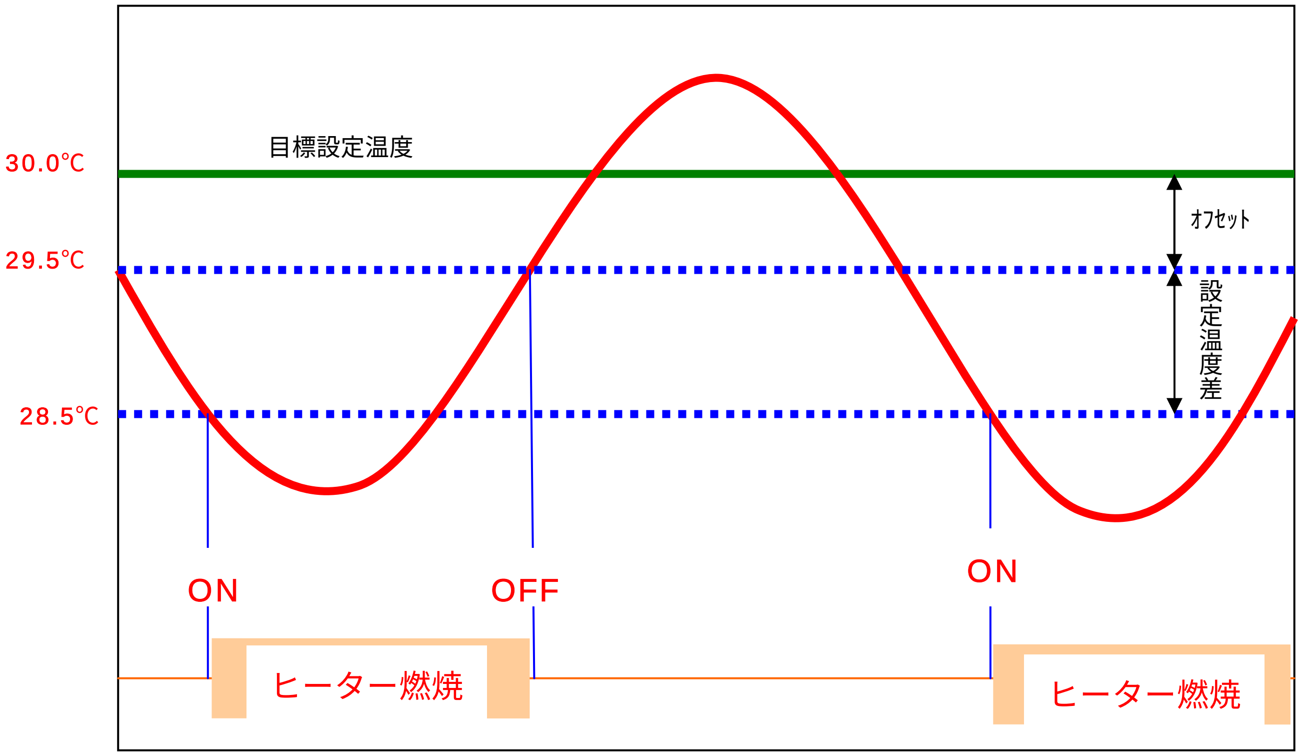
機能ボタン▲ ▼ を押して、オフセットを選択すると

ＯＦＳＥヒ　０.０　と交互に点滅表示されますが、０.５のままでお願いします。その他機能ボタン □ を押すと温度差の設定画面になり

ｄｌＦ　１.５と交互に点滅表示されます。

室温変化によるファンコントロール





温度変化によるヒーターコントロール